

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33502	リビングスタイリスト演習 Living stylist	西村 和哉	専門	1	選択	1・2年前期
<b>科目の概要</b>						
<p>「住文化の変遷と新たな展開」を学習し、生活空間をプランニングするために必要な基礎知識を修得します。                  インテリア用品を学び、「小住宅の作図実習」「リフォーム提案作図実習」「住宅見学の現場実習」を通じて課題を考察します。                  ★建築設計事務所として建築の企画、設計、監理および街づくり、「建築と子ども」における教育等についてのワークショップを行っている。まわりの環境やその先を見据えたなかでのインテリアコーディネートの演習を行う。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 戦後の日本を中心に住文化の概要を知り、説明出来るようになることを目的とする。			① 住文化の概要を理解し、説明することが出来る。			
② 住宅見学の現場実習を通じて現代住宅の課題点が考えられるようになることを目的とする。			② 現代住宅の課題を考え、説明することが出来る。			
③ インテリア用品を学び、生活の中でどのような影響・効果を与えるのかを考察します。			③ インテリア用品を学び、その影響・効果について説明することが出来る。			
④ 小住宅の作図実習を行い、簡単な設計図書の作図が出来るようになることを目的とします。			④ 簡単な設計図書の作図を行うことが出来る。			
⑤ 具体的に、自分の部屋について課題点を考え、リフォーム提案実習を行ないます。			⑤ 自分の部屋について見直し、簡単なリフォーム提案を行うことが出来る。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	ア. 技能を習得するという目標に向かって指示が無くても自ら練習することが出来る。 イ. 課題を行うのに必要な知識を、文献、新聞等を使って自己学習することが出来る。				
	働きかけ力	ア. わからないときに相談することができる。				
	実行力	ア. 課題や作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることが出来る。				
考え抜く力	課題発見力	ア. 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることが出来る。				
	計画力	ア. 計画通りに進まないときは、計画を見直し修正出来る。				
	創造力	ア. 物事を考える時に、固定概念にとらわれることなくいろいろな方向から考えることが出来る。				
チームで働く力	発信力	ア. グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することが出来る。 イ. 発表の仕方を工夫して発表出来る。 ウ. 整理した内容を、的確な文章で表現出来る。				
	傾聴力	ア. グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べる事が出来る。				
	柔軟性	ア. 自分と異なる価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	ア. 自分ができていることを考え、また周囲にどんな影響を及ぼすか考え、目標に向かって努力できる。				
	規律性	ア. 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることが出来る。				
	ストレスコントロール力	ア. 失敗した時や落ち込んだり動揺することがあっても、次に進むことができる。				
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 使用しない。プリントを配布する。 ※「参考文献」は読むことが望ましい書籍の紹介です。講義では使用しません。 参考文献 1: モダンリビング (株式会社ハースト婦人画報社) 参考文献 2: BRUTUS Casa (株式会社 マガジンハウス) 参考文献 3: ELLE DÉCOR エル・デコ (株式会社ハースト婦人画報社) ※ 作図の授業時には定規(三角スケールが望ましい)、シャープ(製図用シャープペンが望ましい)、消しゴム等を用意すること。 (購入時期は講義内で説明してからで問題ありません。)						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 住まいの文化、インテリアエレメント、インテリアデザイン、マネジメント						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
自主性を持って課題に取り組んでください。 参考文献等は必読ではないが読むことが望ましい。 リビングスタイリスト資格試験対策講座ではありません。 インテリアコーディネーター資格対策講座ではありません。そのため の導入講座として興味を持って取り組んでください。			事前準備が必要な課題、講義内で完成しなければならない課題、進み具合を確認しながらの課題もありますので、積極的に授業に参加すること。また、許可(ネット検索等)がない限り携帯電話は、カバンに入れておくこと。時間と提出期限は厳守して下さい。提出課題はすべて提出すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト	10	①	✓
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	10	①	
		②	
		③	✓
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	70	①	
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	✓
その他		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価割合	100		

※小テスト以外のレポート、成果発表は、1週遅れは点数の1/2を減点し、2週以上遅れ、不参加等は全ての点数を減点する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住文化の概要を理解し「<u>自分の言葉</u>」で説明することが出来るようになること。</li> <li>・作図実習では創造力を発揮し「<u>自分のアイデア</u>」、「<u>自分の表現方法</u>」で提案が出来ること。</li> <li>・現場実習では「<u>自らの考察</u>」で課題点を探し、「<u>自分の言葉</u>」、「<u>自分の表現方法</u>」で発表が出来ること。</li> </ul> <p>A(優)は、B(良)と比較し「<u>自分の言葉</u>」、「<u>自分のアイデア</u>」、「<u>自分の表現方法</u>」等で説明及び提案がなされていることが重要です。その上で、さらに「<u>アイデア</u>」や「<u>表現方法(プレゼン)</u>」が卓越しているものには、S(秀)を付与します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に意欲的に参加している。</li> <li>・住文化の概要を理解し説明することが出来ること。</li> <li>・簡単な設計図書の作図と提案が出来ること。</li> <li>・現代住宅の課題を考え、説明することが出来る。</li> </ul> <p>上記の内容を「理解していない」、「考察していない」、「提案がなされていない。」と判断した場合は、C(可)となります。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「ガイダンス」を行い、住宅実例の紹介を通じて「住文化」の概要を理解する。	講義 (プリントとパワーポイント使用する) ミニレポート①	『住文化』の概要を理解する。また、実例紹介を通じて、その理解を深めること。	予習: 参考文献を読んでもらうことが望ましい。 復習: 講義ノートを復習し自分なりに課題点を見つけること。	90	主体性 課題発見力 規律性
2週 /	「住文化の変遷について-1」 古代から戦前までの住文化の変遷を勉強します。	講義 (プリントとパワーポイントを使用する)	住文化の変遷を理解すること。古代から戦前までの住文化を理解する。	予習: レジメを読んで来ること。 復習: 講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
3週 /	「住文化の変遷について-2」 戦後の新たな住文化の流れを勉強します。	講義 (プリントとパワーポイントを使用する)	戦後の新たな住文化の流れを理解する。	予習: レジメを読んで来ること。 復習: 講義ノートを復習し、住文化の流れを理解すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
4週 /	インテリア用品について学ぶ①	講義 (プリントとパワーポイントを使用する) レポート課題① 「私の好きなリビング」 小テスト①	インテリア用品を学び、その影響・効果について理解する。 レポート5/15 締切	予習: レジメを読んで来ること。 復習: 講義ノートを復習すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
5週 /	インテリア用品について学ぶ②	講義 (プリントとパワーポイントを使用する)	インテリア用品を学び、その影響・効果について理解する。 レポート2週間後締切	予習: レジメを読んで来ること。 復習: 講義ノートを復習すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
6週 /	「現場実習」 岡崎市内の住宅を見学し、インテリアの実践を学び、良い点、問題点(課題発見)を考えます。	現場見学 岡崎市内の住宅の見学 現地集合解散。 ※土曜日実施	いろいろな住宅を見学し、比較し、課題や発見をする。	予習: 見学会場の資料を調べる。 復習: 現場見学時のノート、写真の復習。	90	主体性 課題発見力 規律性 状況把握力
7週 /	成果レポート作成 「現場実習」での課題と発見をレポート作成します。 成果発表①	A3 方眼紙に写真と「自分の言葉」で、「課題・発見」についてレポート作成します。	いろいろな住宅を見学し、比較し、課題や発見をする。	予習: レポート作成に使用する資料の準備を行う。 復習: 現場見学時のノート、写真の復習。	90	創造力 実行力 計画力 傾聴力 状況把握力
8週 /	作図実習 A-1 小住宅の作図を勉強します。 成果発表②	図面の見方等、基本事項の説明と作図課題の説明を行います。(プリントとパワーポイントを使用する)ミニレポート②	図面の見方を理解すること。	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力 傾聴力 柔軟性
9週 /	作図実習 A-2 小住宅の作図を勉強します。(主に平面図) 成果発表②	作図実習を行います。製図用品を持参すること。	作図について理解する。(主に平面図)	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
10週 / /	作図実習 A-3 小住宅の作図を勉強します。 (主に展開図) 成果発表②	作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	作図について理解する。 (主に展開図)	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: プリント(図面の見方等)の復習。	90	創造力 実行力 計画力
11週 / /	作図実習 A-4 小住宅の作図を勉強します。 (主にプレゼンテーション) 成果発表②最終提出	作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	作図について理解する。 (主にプレゼンテーション)	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: 作図を見直す。	90	創造力 実行力 計画力
12週 / /	作図実習 B-1 リフォーム提案の作図を勉強します。 (自分の部屋のリフォーム提案) 成果発表③	事前調査した自宅の作図実習を行います。 製図用品を持参すること。  ミニレポート③	実際の状況をより正確に理解し、作図する。	予習: 自宅の実際の状況をより正確に計測し、間取りを理解する。 復習: 作図を見直す。	90	創造力 実行力 計画力 柔軟性 状況把握力
13週 / /	作図実習 B-2 リフォーム提案の作図を勉強します。 成果発表③	作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	作図について理解する。	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: 作図を見直す。	90	創造力 実行力 計画力
14週 / /	作図実習 B-3 リフォーム提案の作図を勉強します。 成果発表③	作図実習を行います。 製図用品を持参すること。	作図について理解する。	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: 作図を見直す。	90	創造力 実行力 計画力
15週 / /	作図実習 B-4 リフォーム提案の作図を勉強します。 成果発表③ (※筆記試験の代わり)	作図実習を行います。 「現場実習」成果発表①を振り返る。	作図について理解する。 「現場実習」成果発表①を振り返り、インテリアの実践について理解する。	予習: 作図課題の予習が必要です。 復習: 作図を見直す。	90	主体性 課題発見力 規律性 創造力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力